

2025年度
(令和7年度)
事業報告

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

公益社団法人 京都府医薬品登録販売者協会

(1) 公益目的事業Ⅰ

「医薬品登録販売者」に課せられた研修は、年間12時間以上義務付けられている「継続的研修」である。受講は、その全部が通信研修でも構わない事とされた。そしてそれを受講させなければならないのは、薬局・店舗販売業・配置販売業等の医薬品販売業者であり、登録販売者自身も積極的に受講しなければならない。我々の属する（公社）全日本医薬品登録販売者協会は、その数少ない外部研修機関である。今期実施した継続的研修会について報告する。

① 基準講習会 第1回 登録販売者生涯学習研修会

令和7年 6月25日（水）午後1時～午後4時30分 会場 ラポール京都2階ホール

参加者 会員44名 一般14名 合計58名

B-1 講座 「登録販売者として確認しておきたい最新情報」

講師 京都府健康福祉部薬務課課長補佐兼係長 石倉 章男先生

B-2 講座 「登録販売者として求められる理念・倫理」

講師 京都市保健福祉局医療衛生企画課薬務係長 改田 千恵先生

A-1 講座 「皮膚の損傷」

講師 ニチバン(株) 大阪支店 村上 和明先生

② 第2回生涯学習研修会

令和7年 8月11日（月・祝）午後1時～午後4時30分 会場 ラポール京都研修室

参加者 会員 34名 一般 13名 合計47名

A-3 講座 「頭が痛い」

講師 本草製薬(株) 建林 龍欧先生

A-2 講座 「一般用医薬品の薬理学」DVD 研修

講師 今井 雄一郎先生

③ 全国統一薬事講習会 第3回生涯学習研修会

令和7年10月22日（水）午後1時～午後4時30分 会場 ラポール京都研修室

参加者 会員 33名 一般 9名 合計42名

B-3 講座 「薬事関係法規・制度、適正使用、安全対策」

講師 京都府健康福祉部薬務課課長補佐兼係長 石倉 章男先生

B-4 講座 「リスク区分等のあった変更があった医薬品」

講師 京都市保健福祉局医療衛生企画課薬務係長 改田 千恵先生

A-4 講座 「痔疾」

講師 天藤製薬(株) 山口 征之先生

④ 第4回生涯学習研修会

令和8年 1月12日（月・祝）午後1時～午後4時30分 会場 ラポール京都研修室

参加者 会員 36名 一般 14名 合計50名

A-5 講座 「アレルギー性鼻炎」

講師 田辺ファーマ(株) 松村 俊樹先生

A-6 講座 「便秘異常」

講師 大幸薬品(株) 下川 道世先生

（２）公益目的事業Ⅱ

① 医薬品適正使用普及啓発事業

「薬と健康の週間」に合わせて、薬の特殊性と安全性を府民に充分理解してもらい、我々の店を「かかりつけ薬店」とでも言うべき相談相手として認識していただけるように、「薬の知識・セルフメディケーションハンドブック」小冊子を会員、並びに生涯学習一般受講者に配布し、店頭から消費者に趣旨を説明しながら希望者に手渡していただきました。

② 医薬品等の販売姿勢の適正化、流通の正常化の促進事業

京都府薬剤師会、京都府薬業団体連合会と常に連絡を取り、医薬品などの販売姿勢の適正化や、医薬品流通の正常化に関して、忌憚のない意見交換を行いました。

③ 献血に関する事業

毎年、献血事業は血液が不足する、暑い７月に行っています。京都府赤十字血液センターの職員さんの協力のもと、今年はイオンモール京都桂川の駐車場に献血車を乗り入れてもらい、大勢の方々にご協力をいただきました。暑さで大変でしたが、出入り口で献血をお願いする呼びかけを担当し、午前１０時３０分から午後３時３０分までの５時間、東入り口、西入り口に分かれて実施しました。

参加者の理事の中では、西川常務理事しか献血できるものはありません。今後も会員さんにも、一般の方にも一人でも多くこれに参加していただけるよう運動を続けていきます。

令和７年７月２１日（月・祝）午前９時３０分から午後２時まで

献血場所 イオンモール京都桂川 出入口

協会スタッフ 西川隆二、坂田寿士、畑 忠夫理事 ３名参加

４００ｍｌ献血	受付者数	５９名
	献血者数	５８名
	不適格者数	１名

（３）公益目的事業Ⅲ

① 京都府委託事業「薬草に親しむ会Ⅱ」―「薬膳インストラクター養成講座」事業

薬膳インストラクター養成 上級講座 卒業者３０名 初級講座 ４７名進級

上級講座の生徒さんは熱心な方が多く、授業の終わりには先生に質問される方が多いという印象でした。４１名で始まった７期生でしたが、途中で退会、休会、留年があり、卒業まで行かれた方は３０名となりました。

８期生として始まった初級講座の生徒さんは、欠席者も少なく本当に真面目に授業に取り組まれ、実習のレポート提出も自宅で作成した「薬膳」の写真を添えるなど、工夫を凝らしたものを提出してくれています。

② 女性部会 「パール会」事業

令和 ７年８月３１日（日） ハートンホテル京都にて

料理を作る機会が多い女性に、より正しい健康意識を持っていただきたい、として昨年度に引き続き、中戸川貢先生の「添加物のお話 ～人工甘味料・合成着色料～」講演を実施しました。スピーディなお話運びでぐいぐい引き付けられ、今まで持っていた添加物感を一新する、とても良い研修会になったと思っています。

（４）総会事業

（公社）全日本医薬品登録販売者協会総会（令和７年度の総会）

２０２６年 ６月１６日（火）午後１時から 東京の全薬協会館で開催されます。

会長が大阪の竹内和良氏に代わり、徐々にそのカラーを発揮してきておられます。近畿ブロック会から出た会

長としては我が京都の 畑 忠夫 元会長以来であり、大いに盛り上げていきたいと思っています。参加出来ない方はZ o o mによる参加となります。

(公社) 京都府医薬品登録販売者協会総会(令和7年度の総会)

2026年 5月24日(日) 午前11時~正午まで

京都アスニーの会議室をお借りして開催。

(5) その他の事業

(1) 新年大会事業 令和7年1月10日(土) ホテルグランヴィア京都において、盛大に開催されました。

例年通り、多くの顧問の国会、府会、市会の先生方、京都府知事・市長様、行政の担当者様、関係団体の代表の皆様、取引業笹間等、協会員など多くの皆様でにぎわいました。来年はもう少し多くの協会の方々との交流が出来ればよいと思っています。

(2) 我が組織の事業の大きな柱は、研修会事業である。E-ラーニングの開始に伴い、集合研修の参加者が現期限している。そのため、会場を大ホールから会議室へ変更した。今後の修吾いう研修のあり方については近畿ブロック会で検討を続けたい。

(3) 会報「京薬協新年度号」の発行(年1回4月)、毎年発行が遅れる傾向がある。編集委員会などを作って何を載せていくのか、もっと練る必要がある。

「会員通信」は年6回発行しているので、もっと内容をきめ細かにして、お知らせ的要素も入れ、理事会後の内容も入れられるようにしていくべきであろう。

(4) 賠償責任保険(管理者以外)の加入促進も行いました。全会員156名の中、管理者として店頭がある会員は41人、その他は従業員かそれ以外となる。僅かな掛け金で加入でき、広範囲の補償が得られる安心の賠償責任保険制度は組織の長年の成果でもある。多くの会員の利用を推進していきたい。

以上